

御嶽山の噴火状況等について

※ これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

※ 下線部は、前回からの変更箇所。

平成26年9月27日
19時00分現在
内閣府

1. 火山活動の状況(気象庁情報:9月27日14:30現在)

(1)これまでの状況

- ・御嶽山(長野県・岐阜県境)では、本日(27日)11時53分に噴火が発生。
山頂付近の状況は視界不良のため不明であるが、中部地方整備局が設置している滝越カメラにより南側斜面を噴煙が流れ下り、3キロメートルを超えるのを観測。このように火山活動が高まっていることから、本日(27日)12時36分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1(平常)から3(入山規制)に引き上げ。また、同13時35分に降灰予報を発表。
- ・噴火が発生したのは2007年(平成19年)3月下旬にごく小規模な噴火以来。御嶽山で噴火警戒レベルを3に引き上げたのは、平成20年3月31日の御嶽山の噴火警戒レベルの運用開始以来初めて。

(2)今後の見通し

- ・今後も居住地域の近くまで影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるため、山頂火口から4キロメートル程度の範囲では、噴火に伴う大きな噴石の飛散等に警戒が必要。
- ・火口から4キロメートル程度の範囲では大きな噴石の飛散等に警戒が必要。
- ・風下側では火山灰だけでなく小さな噴石(火山れき)が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意が必要。
- ・爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意が必要。

2. 人的・住家被害の状況(警察庁調べ:9月27日 18:00現在)

(1)人的被害

○火山灰に埋没7名(うち1名は救助されるも意識なし)

※前記7名との異同は不明なるも、別途その他4名の意識不明者に関する情報あり。

※登山者、従業員等からの情報のため、重複の可能性あり。

○負傷者

9名(骨折5名(うち岐阜下山の2名を含む))、負傷程度不明4名(剣が峰山荘避難者)

(2)住家被害

確認中

3. 避難の状況

(1)避難状況(警察庁調べ:9月27日 18:00現在)

- ・15:15頃、頂上山荘約100人の登山客は下山開始との情報。
- ・御嶽神社の山小屋の46人について、下山中との情報。
- ・五の池小屋に退避していた登山客52人等が下山中。負傷者情報はなし。

4. その他の状況

(1)道路関係(国土交通省調べ:9月27日 17:30 現在)

・長野県道 2 路線で入山規制に伴う事前通行規制を 14:20 から実施中

(2) 鉄道関係(国土交通省調べ:9 月 27 日 17:30 現在)

・御嶽ロープウェイは、火山灰の影響により設備に障害が発生する可能性があるため、12時55分に運転休止(15:20。山頂停留場付近にいた約50名は、歩いて下山したようだが、その他の登山者も降りてきており、詳細は不明。

4. 政府の主な対応

(1) 官邸の対応

- ・情報連絡室を設置(9 月 27 日 13:23)
- ・官邸連絡室へ改組(9 月 27 日 14:30)

(2) 総理指示

・御嶽山の火山活動に関し、安倍内閣総理大臣から以下の指示が発せられた。(9 月 27 日 14:30)

1. 早急に被災状況の把握を行うこと
2. 被災者の救助に総力を挙げるとともに、避難誘導等登山者や住民の安全の確保に万全を期すこと
3. 火山の観測を強化し、登山者及び住民に対する迅速的確な情報提供を行うこと

(3) 関係省庁担当者会議の開催

・御嶽山噴火に係る関係省庁担当者会議を開催(9 月 27 日 15:00)

(4) 関係省庁災害対策会議の開催

・御嶽山噴火に係る関係省庁災害対策会議を開催(9 月 27 日 16:40)

(5) 各府省庁の対応

① 内閣府の対応

- ・情報対策室を設置(9 月 27 日 12:36)
- ・内閣府参事官を団長とする情報先遣チーム(団長以下 3 名)を長野県へ派遣(9 月 27 日)

② 警察庁の対応

- ・災害情報連絡室設置(9 月 27 日 13:23)
- ・災害警備連絡室設置(9 月 27 日 14:30)
- ・長野県警がヘリにより情報収集

③ 消防庁の対応

- ・災害対策室設置(9 月 27 日 14:30)

④ 国土交通省の対応

○ リエゾンの派遣

- ・王滝村 1 名、木曾町 1 名、高山市 3 名、下呂市 2 名、岐阜県庁 1 名へ派遣。
- ・長野県庁 1 名、長野県木曾地方事務所 1 名へ派遣中。

○ 専門家の派遣

- ・国総研、土研より砂防専門家 3 名を派遣中

○その他

- ・照明車両5台、衛星通信車 2 台を派遣
- ・土砂災害防止法に基づく緊急調査に着手予定
- ・防災ヘリコプターによる被害状況調査実施
- ・砂防専門家等によるヘリからの現地調査を実施予定(9月27日)

⑤気象庁の対応

- ・火口周辺警報を発表。噴火警戒レベルを1(平常)から3(入山規制)に引き上げ。
(9月27日12:36)
- ・記者会見(9月27日14:30)
- ・気象庁機動調査班(JMA-MOT)を現地に派遣して調査を実施(9月27日13:55)
- ・御嶽山の火山観測態勢について、御嶽山周辺に地震計2点、空振計、傾斜計1点、空振計2点、GPS3点、遠望カメラ1点を設置し、24時間体制で火山活動を監視中。